

東北情報通信懇談会 資金援助事業実施概要報告書

支援: 様式4

事業の名称	ポストコロナ社会における地方DX創生		
開催日	令和3年2月18日	開催場所	公益財団法人仙台応用情報学研究振興財団1階ホール
会場来場者人数	オンライン参加者 350人	実施結果に対する感想・反省等	DX(Transformation)「すなわちデジタル「変革」について、大学、企業等が適応するための取り組みをそれぞれの分野で活躍されている3人の演者から解説して頂いた。
主催団体等	主催: 公益財団法人仙台応用情報学研究振興財団 東北大学研究推進・支援機構 知の創出センター 東北情報通信懇談会 共催: 一般社団法人インターネット協会IoT推進委員会 IoT/AI時代におけるオープンイノベーション推進協議会 東北大学大学院工学研究科情報知能システム研究センター 協賛: 一般社団法人東北IT産業推進機構 後援: 仙台市		DXとは、デジタルデータが前提の世の中に、企業、大学等が適応するための取り組みであり、デジタルデータについては、個人情報対策も気を付けること等、注力すべき内容もあり、実感ができ好評であった。
実施行事概要	オンライン鼎談会: 「ポストコロナ社会における地方DX創生」 鼎談者: 藤原 洋 (ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長CEO) 村井 純 (慶應義塾大学教授・内閣官房参与) 青木 孝文 (東北大学理事・副学長) コーディネーター: 野口 正一 (仙台応用情報学研究振興財団 理事長)		参加者は、Zoomによるオンライン講演で約350人程の参加状況であった。 今後も、このようなイベントを通して産学官が共通の課題解決に向けて連携して取り込む「交流の場」となるようにしていきたい。

